

令和元年度（2019年度）北海道原子力防災訓練について（案）

令和元年（2019年）7月現在

1 訓練の目的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

2 主 催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村（道及び13町村）

3 実施時期

- (1) 意思決定訓練：令和2年（2020年）2月 6日（木）
 (2) 実動訓練：令和2年（2020年）2月13日（木）

4 訓練内容（主なもの）

厳冬期における放射性物質の放出を想定した意思決定訓練・実動訓練の実施に向け、関係機関と調整中。

項 目	主 な 内 容				
■ オフサイトセンター運営訓練 【共催 内閣府（原子力防災）】	○ 国、道、町村等の要員が参集し、住民の防護措置の実施方針を検討する意思決定訓練を実施 ※ ブラインド方式で実施 ※ 国においては、要素訓練として位置付けて訓練参加				
■ 災害対策本部等運営訓練 ■ 住民避難訓練	○ 道、町村の災害対策本部の運営訓練を実施 ○ 住民の30km圏外への段階的な避難の実施 <table border="1"> <tr> <td>PAZ</td> <td>泊村、共和町</td> </tr> <tr> <td>UPZ</td> <td>泊村、神恵内村、積丹町、古平町、余市町</td> </tr> </table> ※ 後志自動車道を活用した新たな避難経路による避難 ※ 実動機関による住民避難の支援の実施 ※ 要配慮者等の避難の実施 ※ 輸送を担う民間事業者の防護対策の実施 ※ 一時滞在場所の設置・運営訓練の実施 など	PAZ	泊村、共和町	UPZ	泊村、神恵内村、積丹町、古平町、余市町
PAZ	泊村、共和町				
UPZ	泊村、神恵内村、積丹町、古平町、余市町				
■ 原子力災害医療活動訓練	○ 避難退域時検査及び簡易除染 ○ 安定ヨウ素剤（模擬）の緊急配布 ○ 医療機関への患者搬送と受入施設での医療措置				
■ 緊急時環境放射線モニタリング訓練	○ 重点区域内におけるモニタリング活動の実施				